

【温暖化対策の推進】 4. ストップ温暖化プロジェクト

4-1 かさまの森林(もり)推進

〈ねらい〉 本市に所在する森林を対象に，市民・事業者と協働により植林や間伐等の森林整備を行うことで，森林の伐採と再生のサイクルを促進し，二酸化炭素吸収量の多い森林を形成します。また，森林整備を通して環境教育・自然体験を行い，市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 かさまの森林（もり）を元気にしよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成30年度
森林・里山保全活動への参加人数	1,045人	1,050人	1,050人	1,507人

実施内容

森林吸収源としての機能をはじめ，水源かん養機能や国土保全機能など多様な公益的機能を担う森林の役割や重要性について周知を図り，地場産材の積極的な利用や里山保全活動に積極的に参加・協力するよう呼びかけます。また，里山づくりや森づくりに努めます。

- 5月12日（土）愛宕山で，（株）カスミ主催によるカスミ共感創造の森植樹祭が行われました。この活動は，地球環境保全活動の一環で平成23年度から実施されており，本年度で8回目となりました。

なお，植樹祭には市民，関係者など約650人が参加しました。

- 緑の少年団活動（市内4団体）

団体活動を支援し，森林・林業体験キャンプ，里山体験学習及び花壇づくり等を行いました。

（稲田小学校わがくに緑の少年団244人，友部緑の少年団33人，北川根小学校緑の少年団277名，岩間第一小学校あたご緑の少年団303人）

〈評価・課題〉

計画的な間伐や平地林，里山林の整備などにより健全な森林の育成を図りました。

また，森林資源の活用促進として，緑の少年団活動等を支援し，森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図りました。

今後も，健全な森林の整備や木材の利用の促進，ボランティア活動への参加を促すなど，森林環境教育を推進していきます。



【環境教育・学習・活動の促進】

5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト

5-1 主体的な環境教育促進

〈ねらい〉 子ども達が、自ら環境保全に関する課題を発見し、対策を検討し主体的に取り組む主体的な環境教育の実施を通じて、身近な環境に関心を持ち問題意識を持つとともに主体性を養う。

〈実施事業〉 涸沼川・巴川を探検しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成30年度
参加者数	27人	35人	40人	30人

実施内容

クリーンアップひぬまネットワークや霞ヶ浦問題協議会で開催する各探検隊に参加して河川の環境問題について勉強します。

① 涸沼川探検隊（担当課：環境保全課）

8月7日（火）市内小学生16人参加

涸沼川をもっと身近に感じ、水質浄化意識の高揚を図ることを目的に「涸沼川探検隊」を実施しました。環境省自然公園指導員の矢野先生の指導のもと水生生物の調査や簡易水質検査（パックテスト）などを行いました。上流の城里町真端地区では、水生生物調査を実施しましたが、涸沼では、台風の影響により波が高く、水の中に入り調査することができませんでした。



② 巴川探検隊（担当課：岩間支所地域課）

8月9日（木）台風のため中止

8月22日（水）市内小学生14人参加

愛宕山から北浦（霞ヶ浦）に流れ込む巴川の水辺の環境学習を目的として「巴川探検隊」を実施しました。霞ヶ浦環境科学センター・雪入ふれあいの里で巴川流域の小学生を対象に水質検査（霞ヶ浦、巴川の水）や源流・水源の森のガイドツアーを実施し、水環境への関心を深めました。



<評価・課題>

涸沼川・巴川探検隊の活動を通して、河川の水質や動植物について学び水質浄化意識の高揚を図りましたが、参加者が少ない結果となりました。

野外での活動のため、天候に左右されますが、今後も、子ども達が主体的に参加できるような、体験学習を実施します。

第1章の関連する施策:水辺の保全意識の高揚(P2), 学校等における環境学習の推進(P29), 体験型学習機会の充実(P29)

5-2 市民環境学習促進

〈ねらい〉 子どもから大人までを対象に、身近な環境から地球規模の環境問題まで幅広く環境について、学び体験する機会を提供するとともに、環境に対して関心をもち、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 環境寺子屋に行こう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成30年度
開催回数	—	4回	6回	3回

実施内容

地域の環境資源を活用し、講師による市民参加型の「環境寺子屋」を開催します。

①「地球温暖化講座・工作教室(保冷剤づくり)」

7月29日(日)参加者15名 会場：笠間市地域交流センターともべ「トモア」
講師：茨城県地球温暖化防止活動推進員 岸 倫男 氏

小学4年生～6年生を対象に、クイズを交えながら地球温暖化講座を実施しました。その他、保冷剤づくりや楽しい実験を行いました。



②「第2回笠間市こども理科自由研究プレゼン大会」

11月10日(土)参加者：プレゼン参加者16名、司会(児童)3名、来場者74名
会場：笠間市地域交流センターいわま「あたご」

市民団体(かさま環境を考える会、ごみを考える会)が中心となり、小学生が夏休みの理科自由研究の成果を発表するプレゼン大会を開催しました。12作品16名の児童が発表し、司会も小学生が行いました。子ども達が主役となり楽しく開催することができました。



③ 「防災気象情報とその利用について学ぼう」

3月13日（水）参加者19名 会場：市民センターいわま 2階会議室

講師：水戸地方気象台 土砂災害気象官 岩佐 洋司 氏

防災気象情報の種類や利用方法，風水害から身を守る方法を学びました。



<評価・課題>

子どもから大人までを対象に，環境について学ぶ機会や発表する機会を提供する環境寺子屋を開催しました。

市民に興味をもってもらえる企画をし，主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

第1章の関連する施策：地球温暖化に対する理解促進(P26)，市民・事業者への環境学習の促進(P29)

5-3 市民環境活動促進

〈ねらい〉 情報提供や活動内容・成果披露の場の提供，実施体制の強化など市民・事業者が行う環境保全活動に対して支援を行うことで，各主体が環境保全活動を行う環境を整備し，その取組促進を図ります。

〈実施事業〉 環境イベントに参加しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	平成30年度
環境イベント参加団体数	10団体	12団体	14団体	12団体

実施内容

日頃の環境活動や環境学習成果を環境イベントに参加して発表する。

- 「かさま環境フェア2018」を笠間市総合公園管理棟前の広場において，10月13日（土）（12団体参加）に実施しました。かさま市民運動会と同時開催し，来場者は600名以上でした。

● イベント内容

- 1) 環境美化マナーに関するポスター展示や入賞者表彰
- 2) 環境啓発劇
- 3) 市民団体や事業所による環境に関する展示や体験コーナー など

● 参加団体

ごみを考える会	かさま環境を考える会	茨城県産業戦略部技術振興局科学技術振興課
クリーンアップひぬまネットワーク	エコフロンティアかさま	笠間市消費者友の会
筑波山地域ジオパーク推進協議会	いばらきエコの会	亜星商事株式会社
セキスイハイム工業株式会社関東事業所	ジャパンテック株式会社	茨城県企業局・茨城県企業公社



〈評価・課題〉

かさま環境フェア実行委員会を組織し，市民団体・事業所と協働で「かさま環境フェア2018」を開催しました。各ブースの体験コーナーなどには参加者も多くいましたが，ステージイベントにおいて，観覧席に空席が目立ちました。現在の形態で開催する場合には，ステージの内容を検討する必要があります。

第1章の関連する施策：市民・事業者の環境保全活動への支援(P31)